

答申「町立保育所は閉所すべき」 これからの保育をどう進める？

第457回定例会を平成26年9月3日から10日にかけて開き、条例制定案4件、決算認定案8件、人事案2件について審議し、すべて原案どおり可決しました。



議案

○特定教育保育施設の運営基準を定める条例の制定
(全会一致にて可決)

・保育所と幼稚園両方の性格を持つ認定こども園の運営基準を新たに定める。
○放課後児童保育施設の運営基準を定める条例の制定
(全会一致にて可決)

・学童保育を行う施設の基準(施設の広さ、職員の資格、開所時間など)を新たに定める。
○家庭的保育の運営基準を定める条例の制定
(全会一致にて可決)

・小規模保育施設(定員19人以下)における運営の基準を新たに定める。

○保育の必要性の認定に関する条例の制定
(全会一致にて可決)

・保護者の就労状況などを見て、保育の必要があるかどうかの判定基準を新たに定める。

質疑

今後の町の保育 地域住民に説明を

日ノ澤議員

町の保育方針を検討する子ども・子育て会議の答申では「平成27年度で町立保育所を終了すべき」とのこと。この答申を受けて、町

はどう進めていくのか。保護者のほか、地域住民の意見も反映しているか。

住民福祉課長

答申の内容を尊重して進めていくため、年度内に計画を作る。会議には幼稚園などの保護者代表が出席しているが、今後進めるにあたり、利用者、地域の方々へ丁寧な説明をしたい。

将来の保育について 議論は尽くしたか

梅田議員

子ども・子育て会議では、認定子ども園への移行

について議論は十分なされているか。

住民福祉課長

保護者の方も参加し、新しい保育制度について検討するため、昨年9月からこれまで7回会議を開いた。出席者の方々へ資料を提示し、意見をいただきながら進めており、十分検討がなされている。

保育料の 無料化への検討を

山口議員

新郷村、七戸町では保育料無料化を図っている。当町でも検討を。

住民福祉課長

答申の中には「保育料の減額、将来的には無料化を」との記載もあり、その意見に沿うよう努めたい。

(8/21 議員全員協議会にて、三戸町子ども・子育て会議からの答申の内容が町長から説明されました。)

子ども・子育て会議からの答申 (要約)

「教育・保育の運営について」

- ①「民間ができることは民間が行うべき」との視点から、いずみ幼稚園の認定子ども園移行計画(平成28年度開園)の推進をすべき。
- ②町立保育所(久川、中央)は平成27年度末で閉所を。
ア、これにより町の保育経費が削減されるため、保育料の減額、無料化を図るべき。
イ、認定子ども園を延長保育、一時預かりができる施設に。

「自分たちの町は自ら守る」

町内会の半数が自主防災会に

議案

質疑

○平成26年度一般会計

補正予算

1億2552万円の増

(計64億8889万円の増)

(全会一致にて可決)

・長期債の元金返済

5640万円

・税番号システム導入

2663万円

・役場非常用発電機修繕

1156万円

・水痘、成人用肺炎球菌予防接種費用

403万円

・プレミアム商品券発行補助金

335万円

・自主防災組織育成補助金

324万円

・目時駅トイレ水道設備工事費

108万円

・コミュニティバス運行委託料増額

105万円

自主防災会づくり

強いPRを

梅田議員

自主防災会は町内にどれだけあるか。まだ組織されていない町内会へのアプローチはどのように行っているか。

総務課長

24町内会のうち、今回新たに4町内会に自主防災会が組織されるため、計12町内会となる。

町内会長会議で、費用面の負担はないこと、体制づくりを町で支援することなど、積極的に伝えている。

自主防災会って？

「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもとに、地域の方々が自主的に防災活動をする組織です。

プレミアム商品券

経済効果は？

山口議員

プレミアム商品券は、地元商店街の振興に効果があると思うが、どれだけの金額が消費拡大につながったのか。

総務課長

昨年度実施したときの報告によると、85店舗で利用され、店舗の総売上額は1796万円となっている。

コミュニティバス

原油高騰が影響

佐々木議員

燃料費が高騰したことに よりコミュニティバス委託料が増えるが、原油価格が落ち着き、下落したら、どう契約するのか。

総務課長

来年度の契約を結ぶにあたっては、そのときの燃料価格に基づいた金額によって契約することとなる。



目時駅

駅のトイレ改修費

なぜ町が負担？

日ノ澤議員

トイレ改修工事を行う目時駅は県の所有だが、なぜ町が行うのか。

総務課長

使用していたトイレ用の井戸水が枯れ、水の出が悪くなった。

県はトイレ閉鎖の方針であったが、駅を利用する町民のために、閉鎖しないよう町が費用を負担して水道整備工事をする事とした。

その他の議案

(全会一致にて可決)

○三戸町監査委員の選任

沼邊 義雄氏 (再任)

○三戸町教育委員の任命の同意

山崎 貴行氏 (再任)

○平成26年度下水道会計補正予算

84万円の減

(計2億4070万円の増)

○平成26年度介護保険会計

補正予算

1112万円の増

(計18億5179万円の増)

○平成26年度国保会計補正

予算

880万円の増

(計17億2992万円の増)



三戸町総合防災訓練のようす (杉沢自主防災会による放水訓練)

一般質問

第457回定例会における一般質問に議員3人が登壇し、町の施策について質問しました。



山口 菊男

活動が困難な町内会 再編への取り組みは？

【竹原町長】住民理解のもとに、合併など慎重に協議する

Q 人口減少が進み、地域が自らできることに自ら取り組む姿勢が望まれる。町内会の維持と推進策について伺う。

- ① 町内会、各種団体のリーダーの発掘と育成について、町はどう取り組むのか。
- ② 地域の実情に応じた支援を行うため、役場職員が各地域を担当する制度を導入してはどうか。
- ③ 各地域で行っている側溝の清掃、草刈り、除雪への支援を。
- ④ 住民が減ったことにより、活動が困難な町内会もあると聞く。町内会再編に向けて取り組む考えはあるか。
- ⑤ 新たに三戸に移り住んだ方に向けて、町内会に加入していただくための方法はあるか。

A 竹原町長

- ① 優れたリーダーの存在は、団体の維持、活性化に必要なもの。「地域産業担い手キャリアアップ制度」があり、各団体が積極的に人材育成に取り組んでほしい。
- ② 役場職員は自分の住む町内会に関わっている。地域の課題については町内会連合会の会議で情報を集めており、職員地域担当制度の導入は考えていない。
- ③ 各町内会の状況をみて、対応を個別に協議していきたい。
- ④ 平成20年に馬喰町町内会と八日町町内会が合併した実績がある。

活動が困難であれば隣接の町内会への合併等が考え



町内会が一丸となって山車運行（さんのへ秋祭り）

られるが、その際は、住民の理解が得られるよう慎重に協議をしていくべきものと考ええる。

総務課長

- ⑤ 転入手続きのため来庁した方に、町内会加入に向けてのPRができないか、住民福祉課と検討していきたい。

事務に追われる教員 負担軽減は

Q ① 学校は、友人や教員との交流を通じて心豊かな人格を作る場である。

しかし、ある調査では、教員は事務作業が忙しく、子どもたちと接する時間を失っており、学級運営に強い不安を抱えていることを示した。当町の教育現場の現状は。

- ② 学習指導要領では、部活動等を地域の人々の協力のもとに運営するよう工夫が求められている。地域の参加に向けた将来的な方針は。

A 友田教育長

- ① 日本の教員の勤務時間は、スポーツや課外活動、事務作業など、世界的にみて最も長く、多忙化が懸念されている。

当町では、町内全学校に小中一貫教育チューターを配置し、三戸中学校には、町独自に講師を3人配置している。

また三戸小、三戸中には校務支援システムを導入し、事務負担の軽減を図っている。

- ② さまざまな技能、能力をお持ちの地域の方々により、効果的に学校を支援していただけるような仕組みを検討していきたい。





農業委員会解体の方針に

町の動きは

大平 会長 農業者代表制の確保のため
国、県へ強く要望していく

Q ① 国での農政改革
会議の答申では、農
業委員会の解体、現在の選
挙ではなく市町村長が農業
委員を任命する、という方
向を示したが、今後どうい
う運びになるのか。

② 耕作放棄地をあつせん
するために県で行っている
農地中間管理事業は、どの
ように進んでいるのか。
③ 企業の農業への参入が
進み、小規模の農家が途方
に暮れる、という心配はな
いか。

A 大平農業委員長
① 次期国会での農
業委員会関連の法律の改正
が必要であり、現在のところ、
こちらには改正の詳細
が示されていない。

三八地区農業委員大会で
は、「地域農業者代表制の
確保、農業委員の人員削減
の撤廃」を盛り込んだ要望



案が採択されており、それ
について国や県の議会議員
等に強く要望していきたい。

② 今年度より、あおもり
農林業支援センターが農地
の賃貸借を進め、農地の集
約を図ることとなった。

まだ契約に至った実績は
ないが、今後は耕作放棄地
所有者への説明を行い、貸
し付け農地の掘り起こし
と、借り受け農家の登録数
の増加を図っていく。

③ 農地貸し付けは耕作放

棄地解消が目的であり、企
業も参入できる。

貸す側、借りる側、双方
の協議が必要であることか
ら、企業への極端な集中は
ないものと考えている。

公共施設に

雨どい設置を

Q ジョイワーク、版画
工房、町民グランド
内の土俵に雨どいを設置し
てはどうか。

A 友田教育長
① ジョイワーク
は左右に傾斜した屋根で入
り口への雨どいは必要ない
構造になっている。

版画工房は利用者が数
人、土俵については使う大
会は年1回、とそれぞれ利
用頻度が低い。利用者の要
望を聞きながら検討してい
きたい。

公園に犬のふん

愛犬家の散歩マナーの向上を

Q 関根ふれあい公園
の管理状況につい
て質問する。

① 公園を利用した方か
ら、犬のふん害についての
苦情を聞いた。

公園は愛犬家のものでは
なく、町民みんなのもので
ある。町は今後どう対応し
ていくか。

② 公園駐車場の白線が見
えない状況になっており、
改善すべき。

A 竹原町長
① 犬のふん放置
禁止の看板を設置したり、
春、秋の狂犬病予防注射の
際は犬の飼い方のマナーに
関わるチラシを配付してき
た。

対策としては飼い主のマ
ナー向上が最善の方法であ
り、今後も粘り強く啓発を
していきたい。

② 来年度、白線の塗り替
えを実施する。



白線が消えかかっている関根ふれあい公園



進む人口減少

定住対策の推進を図れ

竹原町長 新たに立ち上げた定住促進検討委
で具体的に計画をまとめる

Q 高齢化、後継者不足
などにより、人口が

減り、地域が成り立たなくなり、結果的に町外への人口流出に拍車がかかることとなる。

① 住宅、福祉、仕事、教育、余暇を中心とした総合的な定住促進対策を推進してはどうか。

教育や子育てへの支援、事業を起こす際の資金面の支援、農業を継ぐための支援など、若者が移り住みやすい環境づくりが必要と考えるがどうか。

② 他町では、シイタケ栽培ハウスと3LDKの一戸建て住宅を提供することでUターン、Uターンの方を確保した例がある。

当町でも農業用ハウスや資材を貸し付けることでUターン、Uターンの方が定住し、地域の活性化につながると思うが、町

長の考えは。

A 竹原町長

① 役場内に、副町長をトップとした定住促進事業検討委員会を組織した。

「住環境、観光交流、産業雇用、子育て、健康福祉」を柱とした定住促進計画を作るよう指示しており、意見についてはその中で検討していく。

② 定住対策として実施した青年就農給付金事業では5人と1夫婦がUターンで定住した。

また定住促進就職奨励金事業では昨年、一昨年と1家族ずつUターンで定住している。

町の人口が今後大幅に減少する予測となっており、定住促進に向けた事業を速やかに実行しなければならぬと考えている。

老朽化する遊具

点検方法は？

Q ① 町内には松原運動公園の他、各所に

公園があるが、場所によっては草が伸び、ゴミが散乱しているところもある。

町ではどのように管理を行っているのか。

② 公園の遊具が古くなったことで事故が発生する例が全国各地で増えている。遊具点検はどのように行っているのか。

A 友田教育長

① 松原運動公園は

草刈り、ゴミ集めなど、業者をお願いしている。ゴミ箱は設置していないが、ゴミが散乱する状況は現在のところ見受けられない。

竹原町長

管理を町内会が行うこととしている公園については、地域の方々が草刈りなどを行っている。

ゴミは持ち帰るのがマナーであり、環境美化について根気強く啓発をしていきたい。

② 専門業者による点検のほか、職員が遊具点検講習会で点検のノウハウを学んでいる。危険であれば、順次撤去を行っている。



金洗沢公園

三戸城跡の調査 国の指定を目指して

Q ① 城山公園内の鹿園、植物園は活気が

なく、工夫が必要では。② 城跡発掘調査の現在の状況は。今後、史跡として整備していく考えは。



城山公園内 鹿園

A 竹原町長

① 鹿園は子どもたちに人気があるが、植物園については今後どのように整備すべきか、専門家等と相談し、方向を定めたい。

友田教育長

② 平成16年から発掘調査をしており、その成果については資料館での展示や解説板の設置などで、城跡の魅力を感じてもらえるよう整備を進めていく。

まだ未解明な部分も多く、今後も調査をし、国指定が受けられるよう取り組んでいく。

平成25年度会計決算

地域の元気臨時交付金3億7,100万円

町道改良、三戸学園武道場建設に活用

会計ごと決算額

会 計 名		収 入		支 出	
		決算額	対前年度伸び率	決算額	対前年度伸び率
一般会計		76億1,550万円	18. 0%	72億9,968万円	20. 1%
学校給食調理場特別会計		4,035万円	△8. 5%	4,018万円	△8. 1%
簡易水道事業特別会計		4,587万円	78. 5%	4,013万円	107. 0%
下水道事業特別会計		1億7,677万円	△3. 9%	1億5,995万円	△6. 7%
後期高齢者医療特別会計		1億1,672万円	△0. 9%	1億1,523万円	△0. 8%
介護保険特別会計		18億5,203万円	5. 2%	18億 651万円	5. 0%
国民健康保険事業勘定特別会計		16億9,290万円	△2. 5%	16億2,958万円	△1. 7%
三戸中央病院事業特別会計	収益	17億8,443万円	△3. 0%	16億6,880万円	△1. 0%
	資本	1億2,312万円	5. 6%	3億3,361万円	3. 7%
合 計		134億 4,769万円	9. 5%	130億 9,367万円	10. 8%

○町の主な事業を行う一般会計の決算額は、昨年度に比べ、収入18・0%増（11億6408万円増）となりました。

これは地域の元気臨時交付金3億7100万円、凍上災害（※）への負担金4億6100万円などが国から交付されたことが大きな要因で、それに伴い、支出も増となる決算になりました。

決算総括

	平成25年度	前年度	健全化すべきとされる判断基準
実 質 公 債 費 率 比	15.3%	16.8%	25.0%

（決算特別委員会の審議については、次ページから）



冬の厳しい寒さが原因で道路が隆起することにより、舗装面にひび割れが発生する災害。

（※）凍上災害とは？

また簡易水道事業特別会計は、簡易水道統合計画策定、蛇沼簡水漏水に伴う制水弁設置費などにより、大幅な伸びを示しました。

地域の元気臨時交付金のうち、約1億円を町道改良、小中一貫校武道場建設、消防ポンプ車購入、杉沢小中学校屋根改修工事などに充てました。なお残る2億6000万円は平成26年度のハード事業（町道改良、役場駐車場整備など）に活用することとしています。

全議員で町の決算をチェック

平成26年9月9日～10日、平成25年度会計決算について、全議員が委員となる決算特別委員会（委員長 佐々木和志議員）にて審査し、すべて原案どおり認定しました。

主な質疑

一般会計

笑顔あふれる

敬老会に

日ノ澤委員

高齢者の方々は敬老会を楽しみにしている。以前は祝宴時のアトラクションに津軽の「金多豆蔵劇団」を呼んだ経緯もある。経費面の問題もあると思うが、そのような催しもよいのでは。

健康推進課長

出席者、老人クラブなど



敬老会のように

から敬老会祝宴への要望は届いていないが、そのような声があれば、予算をみながら協議検討したい。

誘致企業の雇用減

原因は？

梅田委員

雇用対策として誘致したユーザーサポートセンター三戸だが、就労者数が当初55人から現在23人に減少した。その理由は。

まちづくり推進室長

開設当初から約8ヶ月間の社員研修が行われた。実際の業務レベルに到達できなかった方など、個々の事情があるが、結果的に23人に削減したとのこと。

まちの楽校の評価は

日ノ澤委員

まちの楽校は、商店街の人通りが少なくなるなか、町のにぎわいづくりに貢献しているが、町はどう評価しているか。

まちづくり推進室長

宅配事業については、採算性の問題から、規模縮小などを検討しているが、今後も商店街の活性化に貢献していただきたい。

カラス、クマ被害に

対応策はあるか

山口委員

カラスが大量に発生し、またクマも多数出没している。駆除の取り組みについて説明を。

農林課長

クマが作物を荒らす被害が出ており、平成25年度は熊3頭を猟友会が駆除した。カラス駆除もお願いしているが、民家が近く発砲できないという事情もある。

補助金の効果への

検証を

梅田委員

11ぴきのねこの店頭幕、街コンなどに町の補助金が支出されているが、その効果についての検証はされているか。



11ぴきのねこ店頭幕



公園トイレ清掃
しっかりチェックを

梅田委員

公園のトイレの清掃について、備え付けの清掃表にチェックはあっても、実際には行き届いていない、という実態が見受けられる。町で定期的にチェックを。

まちづくり推進室長

店頭幕が浸透し、来町者も好感を持っていると感じている。

街コンは町内外から約

100人が参加しており、町内飲食店が利用されたこと、婚活の面でも効果はあったものと思っている。

まちづくり推進室長

公園管理を3人の方に委託している。改めて確認し、管理人にお願いしていきたい。



どうする？城山の今後

中学生海外研修 希望者全員の派遣を

坂本委員

中学生海外研修に14人が申し込み、選考により実際には12人が派遣となった。申込者全員を派遣することはできなかったか。

教育委員会事務局長

当初から12人を派遣する旅費予算が確保されており、学校では研修への意欲、英会話能力などを基準として面接選考を行った。

三戸城の国史跡指定 への見通しは

山口委員

三戸城跡の調査により、国史跡に指定されると、観光面においても効果があると思うが、その見通しは。

教育委員会事務局長

発掘調査はまだ未了だが、調査をまとめる作業がある。

今後、城山を史跡としてどのように活用していくかをしっかりとまとめることが必要になると思う。

三戸中央病院会計

外来患者減に どう取り組む？

梅田委員

年間外来患者数4157人減に病院側はどうみているか。患者に合った医療を適正に提供できているか。

病院事務長

外来患者数の減は、泌尿器科医の退職、薬の長期処方によるところが大きい。患者増に向けて予約診療を導入し、また来年1月をめどに医療療養病床を稼働できる体制を作っていく。

奨学金の滞納に 町の対応は

日ノ澤委員

奨学金についての未収金額はどれくらいあるか。その回収方法は。

教育委員会事務局長

未収金額は総額514万円。納付を促す文書の送付、電話による催告などしている。また保証人からの返済例もある。

高齢者が苦しむ 保険料の年金天引き

大向委員

少ない年金からの保険料徴収で高齢者は苦しんでいる。そのような声を、運営する県広域連合へ伝えるべきと考えるがどうか。

健康推進課長

職員が訪問し、少しずつ分割納付していただいている例もある。町は制度に沿って運営していく。

介護保険会計

複雑な介護組織 何を議論してる？

大向委員

介護認定計画策定委員会や介護認定審査会があるが、それらの組織内ではどのような

うな審議が行われているのか。

健康推進課長

介護認定計画策定委員会では町の介護計画づくりや予算、決算について審議している。

住民個々の介護申請について審査を行うのが介護認定審査会であり、審査については八戸広域事務組合に委託している。

国民健康保険会計

高い国保税 減税への工夫を

大向委員

国保税が高い、との声。会計の収支残高6400万円を保険税減額に活用を。

竹原町長

一般会計からも繰り入れしている会計であること、残高は翌年度の資金となることなど、減税に充てることはできない。

討 論！

◇後期高齢者医療特別会計◇

[反 対] 大向委員

国民の不安を無視して、75才を基準にして保険料を強制徴収する制度であり、反対する。

[賛 成] 山口委員

高齢者の医療を確保するため、適正に執行された決算であり、賛成する。

賛成多数により、認定（賛成10、反対1）

◇介護保険会計◇

[反 対] 大向委員

保険料の負担、サービスの変更など、政府の都合で変動し、不安を与える制度であり、反対する。

[賛 成] 豊川委員

適切な介護サービス、介護状態となる方を最小限に留める介護予防策が実施されており、決算に賛成する。

賛成多数により、認定（賛成10、反対1）

◇国民健康保険会計◇

[反 対] 大向委員

不況、消費税増税により町民には大変な時期。国保税が住民を苦しめており、反対する。

[賛 成] 船場委員

国保加入者の健康の維持増進のために、制度に基づき適正に支出しており、賛成する。

賛成多数により、認定（賛成9、反対2）

委員会調査レポート

議員は3つの常任委員会のいずれかに所属しており、各委員会は議会の閉会中に担当分野について調査しています。

総務文教常任委員会

町有地を売却し 定住促進を

◇7月31日、町内の町有財産の管理状況について調査を行いました。

〔調査箇所〕

- ・役場駐車場
- ・旧医師住宅（川守田橋ノ下）
- ・故岩井氏寄贈住宅（川守田菖蒲沢）
- ・町営住宅跡地（川守田関根）



故岩井氏住宅を調査

〔調査結果・意見〕

- ・五叉路の改良に伴う役場駐車場整備工事については、来庁者の安全を確保し、早期完成に向けて進めていただきたい。
- ・町有地の活用を図るとともに、活用計画のない土地については、住民の定住促進に役立てるため、積極的に売却を。



旧医師住宅を調査

民生商工常任委員会

金洗沢公園の 積極的なPRを

◇8月1日、町内の公園管理状況、児童福祉施設の運営状況について調査を行いました。

〔調査箇所〕

- ・金洗沢公園
- ・町立保育所、児童館
- （久川保育所、中央保育所、斗川児童館、中央児童館）



斗川児童館内

〔調査結果・意見〕

- ・金洗沢公園について、しだれ桜を手入れし、案内板設置のうえ、新たに観光パンフレットと作成するなど、積極的にPRをしていただきたい。
- ・町立保育所の運営状況は良好である。熱中症対策として、各施設へのクーラー整備を進めていただきたい。
- ・中央児童館では放課後子ども教室も開催し、混雑している。児童の安全確保のため、三戸小学校との協議が必要である。

さくらんぼ不作 霜対策で

収量確保を

◇7月2日、農作物の生育状況について調査を行いました。

〔調査箇所〕

- ・さくらんぼ（梅内築田川原、泉山）
- ・りんご（泉山）
- ・ピーマン（豊川玉ノ木）
- ・葉たばこ（斗内辻ヶ平、貝守古屋敷）



収量減となったさくらんぼ



さくらんぼ園地を調査

〔調査結果・意見〕

- ・りんご―平年並み。
- ・さくらんぼ―雨不足や霜により、園地によっては収量減となったが、その分高値で取引されている。結果的には所得減であり、防霜ファンの設置など、収量確保策の検討を。
- ・野菜―冷夏の予想であったが、平年どおり順調である。
- ・葉たばこ―順調に生育している。病害虫に注視し、発生防止に向けた指導を。

議会運営委員会 視察研修報告

住民に開かれた議会づくりとは

7月28日から29日にかけて、議会基本条例、住民への議会報告会（意見交換会）について学ぶため福島県の2町村議会を訪問し、説明を受けました。

福島県大玉村議会

①議会基本条例の制定の経緯とその効果

- ・村民の意見を反映しうる議会づくりと議員の政策提言には基本条例が必要である、ということから、特別委員会を設け、条例を制定するに至った。
- ・村側の反問権（村長が議員に質問する権利）の条項もあることから、議員の愚問が減った。

②議会報告会の実施状況

- ・平成21年4月に開催し、参加者は15人。現在は地震の影響により、開催を中断している。
- ・住民からは身近な行政サービスへの意見や、要望が多かった。



大玉村での研修のようす

福島県会津美里町議会

①議会基本条例制定の経緯とその効果

- ・福島大学と町議会との連携のもと、基本条例特別委員会を設置し、制定した。
- ・良い意味でも悪い意味でも、制定した以上やらざるを得ないのが実態であり、議会の新たなチャレンジでもあった。

②地区別意見交換会の実施状況

- ・議員を3グループに分け12カ所で開催。参加者は121人。
- ・町民の意見を聞くだけでなく、議会の考え方を示すことが求められた。議員が鍛えられる場になっている。

・今後は企業単位や、集落単位で開催することで参加者がより多くなるものと思われる。

（所感）

議会基本条例は、議会、議員としての活動原則等を定めた指針であり、今回の視察研修を通じて、議会の担う役割と責任の大きさを感じました。

議会報告会、意見交換会など、開かれた議会づくりをめざし、住民の負託に応えるにはどのような議会がふさわしいか議論すべき、と思います。

議会運営委員会

委員 澤田道憲

（紙面の都合上、要約しています。）

1市7町村議会議員が三戸に

三戸学園、11ぴきのねこを紹介

八戸圏域定住自立圏議員連盟

○10月10日、定住自立圏内

市町村（八戸市、三戸郡内

6町村、おいらせ町）の議

員を対象とする視察会、勉

強会が、三戸町で開催され

ました。

（勉強会）

「三戸町の

小中一貫教育について」

三戸町教育委員会事務局

馬場 幸治氏

「11ぴきのねこの

まちづくりについて」

三戸町総務課

山口 航生氏

（視察会）

小中一貫三戸学園内



三戸小中学校での視察会

（講演会）

「定住自立圏構想の推進
等地域力創造施策につい
て」

総務省地域力創造グルー
プ

地域自立応援課

課長 佐藤 啓太郎氏

三戸町で現在進めている
2つの事業が紹介され、そ
の後、総務省佐藤課長か
ら、全国の定住自立圏の取
り組み例、「地域おこし協
力隊」などについて説明を
受けました。



三戸町が取り組む小中一貫教育を紹介

12月議会のお知らせ(予定)

11 / 28 (金) 町長から議案説明
10:00 ~

11 / 29 (土)
~ 12 / 1 (月) 休 会

12 / 2 (火) 一般質問
10:00 ~
・議員が45分の持ち時間内で町の施策に
ついて質問します。

12 / 3 (水) 一般質問 (予備日)
10:00 ~
議案審議、採決

開会日は **11月28日** です。

議会をネットで配信しています

議会でおこなった議員の一般質問を、インターネット
で配信しています。

町ホームページ内の議会コーナーへアクセスする
と、質問と町の答弁のようを視聴できますので、
ぜひご覧ください。

(三戸町ホームページ)

<http://www.town.sannohe.aomori.jp/>

あとがき

▽秋の収穫が終盤を迎えて
います。冬が近づくにつれ
て、日増しに暖を取る日が
多くなりました。火の元には
十分お気をつけくださ
い。

▽日本各地で大雪、豪雨、
巨大台風、竜巻など、大災
害の多い年でした。

自然の猛威はいつ、どこ
に襲いかかるかわかりませ
んの、普段から避難場所
の確認など、防災対策を万
全にしましょう。

▽議会広報や、議会のイン
ターネット配信など、議会
に関するについて、皆
さまのご意見、ご感想をお
待ちしております。(澤田)

平成26年11月

議会広報編集委員会

委員長 坂本 勝克

副委員長 梅田 悦子

委員 北 向 敦

山 口 菊

澤 田 衛

館 衛

さんのへ 議会だより



今回新たな種目となった「俵づみりレー」
(9/28 第60回三戸町民大運動会)

第162号

平成26年11月18日発行
青森県三戸町議会

ページ

- 2 町立保育所 平成27年度で閉所？
- 4 3議員が一般質問
- 8 全議員で全会計決算をチェック
- 10 常任委員会が町内を現地調査